



集落営農法人だより

「第2回 役員向け研修会」を開催 ～雇用管理について学ぶ～

山口県集落営農法人連携協議会は 11 月 7 日、県JAビルにおいて、第2回 役員向け研修会を開催しました。研修会には会員法人の役員（40 法人 43 名）など 58 名が出席、魅力ある農業の職場づくり、雇用管理について研修しました。

はじめに、協議会の中村久会長が「担い手の高齢化や減少が課題となっている中、集落営農法人の後継者や就業者の確保に向けて、魅力的な職場づくりへの期待が高まっています。本日は法人の役員の皆様に人材の募集・採用・定着・育成などの雇用管理に関する理解を深めていただきたい」とあいさつ。



研修では、(株)オーレンスパートナーズの山田晃裕講師が「人材の定着と育成の事例」について報告。

「なぜ、好きなのに去っていくの?」として、経営者の思いが従業員に伝わらず、退職していく事例を紹介し、人事考課制度や年次事業方針説明を説明することにより、「魅力ある農業の職場」であることを伝えることができると強調されました。

また、魅力ある農業の職場づくりのポイントとして、「経営理念」や「中長期ビジョン」の可視化（見える化）を挙げ、経営理念としては、「生産者の誇りを持ち、食を育む使命を抱くこと」「高い生産性と高い品質をめざすこと」などを明確にすることが重要。中長期ビジョンでは、「自社の強みをどこに置くか」「規模をどうするか」「組織体制をどうするか」などをいつまでに実現するかを考え、従業員一同が5年、10年でめざす地点を明確にする必要があると報告されました。



このほか、将来の組織体制や行動目標を考えること、給与と職位の照合、給与テーブルの作り方などを説明したほか、従業員の募集、教育訓練、労働契約、雇用形態の違い、就業規則、労働条件に関する基準、労働保険・社会保険、労働者名簿・賃金台帳・出勤簿、退職金制度、助成金などについて、詳しく説明されました。

さらに、研修会終了後には山田講師が個別相談も実施。2組に対して講師が人材の定着、育成に関して相談に応じられました。

なお、本研修会は階層別研修会の一環で、8月の農作業安全などを学んだ第1回に続く2回目。今後は12月に決算・総会研修会、2月にオペレーター研修会を予定しています。

「百姓錬磨の会」農大祭への出展

若手法人就業者サークル「百姓錬磨の会」は、11月3日に、山口県立農業大学校で開催された農大祭へ出展しました。

昨年度に続き、たこ焼き風餅焼き販売し、当日は、買い求める長い行列ができるほど盛況でした。



活動をアピールするため、当日はそろいのポロシャツで参加しました。今年度は新たなメンバーの参加もあり、活動を通じて若手就業者同士の交流も深まりました。

百姓錬磨の会 メンバー募集について

若手法人就業者サークル『百姓錬磨の会』は、県内の若手就業者の連携強化と資質向上を目的とした組織です。40歳以下の法人就業者で構成しており、現在は8法人17名のメンバーが活動しています。

サークルではともに活動する仲間を募集中です！

サークルの会費は無料です。40歳以下の若手就業者がいらっしゃる法人の方は、ぜひ県協議会事務局までお気軽にご連絡ください。

山口県集落営農法人連携協議会 事務局連絡先 TEL：083-973-2224